



厚木ロータリークラブ週報

JAPAN 第2780地区

Atsugi Rotary Club Weekly

会副幹副会
会幹副会
長幹副会
栗原良幸
前島建部
建部卓也
黄井陽茂
鈴木茂男

ロータリーのマジック

2024～2025 国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック

例会場 厚木商工会議所 5F 大会議室

例会日 毎週火曜日 12:30～

事務所 厚木市栄町1丁目16番15号 厚木商工会議所内

<http://www.atsugi-rotary.jp> メールアドレス info@atsugi-rotary.jp TEL.046-222-5811 FAX.046-222-5821

第3118回例会(6月10日)☆司会 山本晃久 副SAA

点鐘 …栗原良幸会長

斉唱 …奉仕の理想

ゲスト紹介



森嶋洋子様(寒川IRC)

会長の時間

故黒柳告芳会員のお別れの会・献花式が7月24日(木)に開催との連絡がありました。詳細は後日ですが、出席を希望される方は会長・幹事までご連絡ください。

今年度最後の卓話は難波会員にお願いいたしました。難波会員には今年度、地区副幹事としてご苦労いただきました。次年度も地区米山奨学会委員として、引続き地区への出向をお願いしています。今日の卓話とともに宜しくお願いいたします。

会長報告

◎ガバナー事務所 より

・資料提供のお願い

【次年度地区会員増強維持委員会】

・6月ロータリーレート 1ドル=144円

・2025-26年度 地区R財団セミナー・補助金管理
セミナーのご案内

2025年7月12日(土)

R財団セミナー 13:00～15:10

補助金管理セミナー 15:30～16:30

スマイル

森嶋洋子様(寒川IRC)

厚木ロータリークラブの皆様はじめまして。本日は卓話をさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

栗原良幸会長・建部卓也幹事

関東地方も本日梅雨入り発表のようです。体調管理にお気をつけください。さて、本日の例会は難波会員ご担当の卓話です。寒川ロータリークラブ森嶋洋子様、ありがとうございます。お話、楽しみにしています。よろしく願いいたします。

難波有三君

本日、寒川ロータリークラブの森嶋洋子様を卓話のゲストスピーカーとしてお願いしております。皆様よろしくお願い致します。

スマイル委員長 小林 透君・副委員長 遠藤純司君

皆様方々のご協力で本年度スマイル目標達成まであとひといきとなりました。具体的に申し上げますと全会員のお一人様に一口づついただけると目標額となります。(3万円)ぜひご協力をお願いいたします。

常磐重雄君

妻の誕生日のお花ありがとうございます。

今日のお祝い 「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

* 事業所開設

小島久美子君(20日)

西迫 哲君(21日)

* 配偶者誕生日

和田勝美夫人

前島憲司夫人

今日の例会 (2025年6月17日)

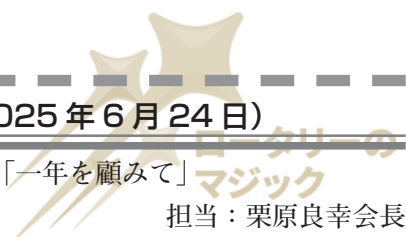
「クラブ協議会」

担当：栗原良幸会長

次回の例会 (2025年6月24日)

「一年を顧みて」

担当：栗原良幸会長



今日のお花



ひまわり(栗原良幸会長)

スカシユリ(建部卓也幹事)

スカシユリ(滝澤 勇君)

アマリリス・アルストロメリア(小島久美子君)

例会「なぜ私が私立探偵に」

担当：難波有三君

講師：森嶋洋子様(寒川ロータリークラブ)



●離婚がきっかけ

私がどうして探偵になったかをまずお話ししたいと思います。もともと私は子供が2人いる普通の主婦でした。其れがある日のこと、元夫が離婚をしたいと突然切り出してきました。あまりおかしいことばかり言うので、知り合いの弁護士に相談したところ「それ女がいるわ」と言われました。「え?? お・ん・な?」と思いましたが、実際に女いました。ホントびっくりしました。

元夫は、こっちの家庭もとおきたい。女とも暮らしたいという、いいとこどりの身勝手な考えの人だったんですね。それまで外泊は一度もなく、会合などと言って出かける事は多かったものの、深夜であっても晩御飯を用意させ自宅で食べてました。ですから特に私は疑うこともなく、出かけるときは、特に格好よくオシャレをさせて「モテて来い!」なんて送り出していました。まあ男性というのは、いつもサッパリしたお寿司とかを食べていれば、たまには脂っこいお肉を食べたくなるだろうと。だから「浮気してごめんなさい」というのであれば許して上げようと思いましたが、浮気どころか本気でした。全て計画的に着々と準備をしていました。元夫も、バレない様に必死だったのでしょう。

弁護士は、調査会社の方(探偵さん)を紹介してくれました。家の状況などから今回の件は、的がついていないので網を張らなくてはならない。そのため調査料金がものすごくかかると言われ断られました。私は専業主婦でお金の管理は全て夫がしていて、生活費を貰う立場で貯蓄も無く高額な調査費用を払うことができなかったからです。そしたら探偵さんから「奥さんご自分でやったらどうですか」と提案されました。

そこで私は、自分の知恵と発想で色々調べ上げ、ほぼ全ての有力情報を自分なりに入手することができました。お世話になった弁護士に報告すると、「あなたスゴいわね! ひとりで2~300万の仕事をしたわね」と言われました。「これが2~300万??」ならば断ってくれた探偵さんに御礼の電話をしなければと思いました。

探偵さんからは「いやぁ…奥さん、凄いですねぇ。ひとりでやったんですか。凄いですね」と頻りに褒められ、その上どんな手口と聞かれたのでお話しすると、「いやぁ…またまた凄い!」と感心されてました。そこでパッと閃いたのが、私みたいに困っている人に私の知恵と発想でこの金額の半分以上で調べて上げれたら喜ばれるかなぁ?ということからが私の探偵を志すスタートの原点なんです。探偵さんに「私、離婚したらこういったお仕事に就けますか?」と聞いたら、探偵学校を紹介して下さいました。

●探偵学校に入学

探偵学校を紹介をして頂きましたが、直ぐには行けませんでした。調停というのは、そうスムーズにはいきません。2か月に1回のペースだったり双方の弁護士先生の都合で延びることもあります。婚費分担の調停が終わったのが1年後でした。その間の1年間は、人生のどん底というか、全ての状況が底辺でした。「私たち今は貧乏だけど…心まで貧乏じゃないよね?」と家族3人で力を合わせ頑張って切り抜けました。

その後、少額ですが生活費も入るようになり、探偵学校に通えることになりました。「奥さん、ここはカルチャースクールじゃないですよ」って断られると思ったのですが、周りは実際に本調査を経験している若者ばかり。。。

46歳のおばさんは、講義と実技を若者たちと一緒に受講しました。実技は、講師の方が「対象者・被調査人」といって調べられるターゲットになって、その対象者を尾行して次の講義迄に行動調査のレポートを提出するというものでした。しかし、我が家にはパソコン無く、また購入する余裕もなかったもので、唯一受講生の中で私だけ手書き作業で提出していました。

卒業するための最終試験は行動調査でした。講師2名が対象者となり、受講生1名が調査員となり午前10時調査開始、18時迄の8時間は飲まず食わずトイレタイムも無し、対象者に気づかれないように尾行することはもちろんのこと、証拠となる映像をカメラに納めながら、そして記録も取るといったひとりで何役もこなす過酷な現場でした。「失尾」といって対象者を見失ってしまったら…そこでアウト!つまり試験も中止となり学校にお戻りになります。六本木から調査開始～新宿、渋谷、品川方面等に受講生たちは分散さ試験開始、私は、対象者2名を最終地点埼玉県草加市まで尾行でした。草加駅ホームにて講師のお二人から「調査修了合格です!!」と告げられ、長時間無我夢中だった私は、ホッとしました。

この最終試験結果、私は、96点をいただき、かれこれ23年前こと無事卒業でき今日に至ります。

また機会がございましたら第2弾「私探偵のひとりごと」お話させて頂ければと思います。

出席報告 <会員 33 名、出席対象 30 名>

5 月 27 日例会	確定出席率 93.10 %	6 月 10 日例会	出席 29 名 欠席 2 名 出席率 96.67 %
		<事前メイク> 黄金井陽介君 (5月30日／厚木県央RC)	
		<欠席> 西迫 哲君	